

令和7年度 第1回市政モニターアンケート

「市公式ホームページ」の集計結果からの考察

問1～3 閲覧の頻度や媒体

市公式ホームページは定期的に閲覧している人は半数以上、スマートフォンでの閲覧が多い。

回答者40人のうち33人が、定期的に市公式ホームページを閲覧していることがわかった。また、スマートフォンでの閲覧が7割近くを占めたため、スマートフォンでの見やすさを考えたページ作りを心がけていくことが必要となる。当市の職員は、ページ作る際のプレビューをPC用で確認していることが多いため、スマートフォンのプレビューを周知していきたい。

問4 ホームページでよく見るもの

生活に密着したもの、広報誌・イベントなどの見ていて楽しいものは閲覧されやすい

市役所での届け出やごみの出し方、年金など、生活に密着した「暮らし手続き」は、41人中22人がよく見ると回答している。次に多いものは、広報ふじのみや・イベントカレンダー・観光 食などのエンターテインメント性のあるものとなっている。閲覧されやすいものは、生活に密着するもの、見ていて楽しいもの、実際に足を運びたいものなどが考えられる

一方、市政に関することや富士宮市議会などをよく見ると答えた人は5人という結果になっている。

問5～8 知りたい情報の探し方

LINEの配信から閲覧する割合が1番多く、次にグローバルメニュー(青メニュー)から探す人が多い。

毎週水曜日にイベント情報を、毎週金曜日に市からのお知らせ情報を配信している。今回のアンケートで回答の半数近くがLINEの配信から市公式ホームページを閲覧している。問4の結果で観光の閲覧数が多い理由の1つに毎週水曜日の結果が挙げられる。

知りたい情報の探すのにたどり着けた割合は、9割以上いた。反対に手間取った人は、「新着情報が下部になった」、「新しいホームページに慣れていない」などの新ホームページの仕様変更が理由に挙げられている一方、「字が小さい」ことも理由も1つに挙げられている。アクセシビリティ機能も必要なのかもしれない。

問 9～10 トップページのデザイン

新トップページのデザインは普通以上が 9 割近く。メイン写真を季節ごとに変更して、見ていて楽しめるホームページへ

トップページの評価は普通以上と回答した人の割合は 9 割近くになった。トップページのメインビジュアルの写真は変更できる仕様になっており、季節ごとに変更に見ていて楽しいホームページを作っていきたい。

問 11～問 12 スマートフォンでの閲覧

スマートフォンでの表示の評価 普通以上は 8 割超

見づらいと回答している人の理由は、情報が多い。文字が多すぎるなどの理由があげられる。ページを作成するうえで、職員はパソコン主体で確認しているため、スマートフォン主体でのページづくりへ移行していけねばならない。

問 13～16 イベントカレンダー

イベントカレンダーへはたどり着きやすいが、表示方法に工夫が必要

トップページからイベントカレンダーにたどり着けた人は、9 割以上であったが、アイコンが目立たないため、おすすめイベントの一面をイベントカレンダーへのリンクにして据え置きしてもいいのでは？

イベントカレンダーの表示については、スマートフォンで見にくいため、表示方法の検討が必要。

問 17～18 まちかどできごと

まちかどできごとは運用を今後も継続し、全庁的な取り組みが必要。

9 割以上の人がまちかどできごとについて、普通以上の評価をしている。記事によっては、アクセス数が上位を記録することがあるため、地道に続けていきたい。

まちかどできごとは魅せるコンテンツなので、金曜日の LINE 配信に入れるのも 1 つの手ではないのか？

問 19～20 改善点やあってほしい機能

以前より使いやすいページになったと意見もある一方、改善の余地もあり

別紙参照